

きくち文昭の
活動記録



北方領土返還要求山形県民大会に参加



平成23年に更新になった
県警通信指令室を視察



酒田市大宮地区での
雨水対策工事現場を視察



酒田市の日本海総合病院敷地内
病児・病後児保育施設「あきほ」
で意見交換を行う



山形県警察音楽隊
定期演奏会会場にて



山形テルサにある若者就職支援センターで意見交換を行う

知ッところ情報

小児や大人の急病の際に、医師の支援体制のもとに専門的な知識と経験を有する看護師が、医療機関への受診や家庭での対処方法について、お電話でアドバイスをいたします。

※年中無休(休日及び年末年始も開設しています)

夜間(19時～22時)の急病の相談は…

小児救急電話相談窓口

県内のプッシュ回線および携帯電話からは

#8000

ダイヤル回線・PHSからは
023-633-0299

しょうにきゅうきゅう

◎相談時間：午後7時から午後10時まで(3時間)
◎対象者：県内に居住又は在住する15歳未満の子ども及びその家族 ◎主な相談内容：子どもの発熱、嘔吐、下痢などの急な病気についての相談 等

大人の救急電話相談窓口

県内のプッシュ回線および携帯電話からは

#8500

ダイヤル回線・PHSからは
023-633-0799

おとなきゅうきゅう

◎相談時間：午後7時から午後10時まで(3時間)
◎対象者：県内に居住又は在住する大人及びその家族 ◎主な相談内容：発熱、頭痛、腹痛、めまい、吐き気などの急な病気についての相談 等

きくち文昭の
県議会での役職は次のとおりです

- 所属会派「公明党」
- 文教・公安常任委員会委員
- 少子・高齢対策特別委員会委員
- 東日本震災特別委員会委員(全議員参加)
- 山形県開発推進協議会理事 等

県政についてご意見・ご質問等がございましたら
お気軽にお寄せください

- TEL.023-641-7060 FAX.023-641-7067
- E-mail : f-kikuchi@mqc.biglobe.ne.jp
- 自宅 : 〒990-0065 山形市双月町 250-3
- 県議会 : 〒990-0023 山形市松波2-8-1 県議会北棟4階
TEL.023-630-3211(代) 内線8404 FAX.023-630-2833

平成24年1月 No.3



きくち文昭
県議会レポート

発行・編集 山形県議会議員 菊池文昭 〒990-0065 山形市双月町 250-3
TEL.023-641-7060 FAX.023-641-7067 E-mail f-kikuchi@mqc.biglobe.ne.jp

山形県議会
No.3

「つながり」「つなげる」「つながる」



文教公安常任委員会より

昨年は多くの皆様に誠にお世話になりました。

平成23年度12月定例会では「つながり」が一つのテーマだったような気がします。人と人のつながり。地域と人・企業と行政など様々なつながりがあり、そこに様々な知識や経験で「つなげる人」。そしてそれぞれが「つながる」。

「つながり」「つなげる」「つながる」。この3つの視点が大切であると思います。

今定例会で国の3次補正予算への対応もあり、①山形に避難されている方への生活相談体制の強化 ②災害拠点病院のDMATの装備充実 ③就職未内定者への支援等で補正額は24億1200万円が可決されました。

「負けないぞ東北。東北の元気は山形から」を思いながら県議会議員として9か月になろうとしております。東北の復興にはまず私たちの住む山形が元気でなければなりません。

人とのつながりや絆を大切に、今後とも安全・安心の上に立った信頼と活力を目指してまいります。

山形県議会議員 きくち文昭

文教公安常任委員会より

県警尾花沢署の改築について

菊池：昭和36年建築の尾花沢署の応急補強工事を終えましたが、震度6強の地震には耐えることが出来ない現状と見られます。早急に新築・移転に向けて取り組むべきと思いますが、新年度の予算要求の状況はどのようになっていますか。

会計課長：新年度予算要求では改築に向けて1億4千260万円を要求しております。この中には用地取得と設計費用を含んでおります。



子どもの安全確保について

菊池：児童生徒の通学路等での安心と安全を図る「こども110番連絡所」表示板の設置状況と、設置するにあたり地域の理解を得ながら進めていくべきですが現状はどのようになっていますか。

生活安全企画課長：平成9年からはじめており、平成23年3月末現在では13553か所です。地域の商店や事業所・個人宅までお願いしており通学路等に日中在宅の方々を含めご理解を頂いて新設等を行っております。



高校生のための新規事業について

菊池：新年度予算要望で産業高校の生徒を対象に「高校生フロンティア事業」との計画がありますがどのような事業ですか。

高校教育課長：県内の産業をリードする人材育成のための事業です。工業・商業・農業の産業高校の生徒を毎年30名程度の生徒数で海外の産業やビジネスを1週間程度の海外視察を考えています。現地での視察や交流を通し本県産業を担う人材育成に取り組んでいきます。



最上地区の県立高校再編整備計画の骨子について

現状 全体 800名 (20学級)

新庄北高校 普通科 全日制200名 (5学級) 定時制40名 (1学級)	新庄北高校 最上校 普通科40名 (1学級)	新庄南高校 普通科120名 (3学級) 商業科40名 (1学級)	新庄神室 産業高校 農業科80名 (2学級) 工業科120名 (3学級)	金山高校 普通科80名 (2学級) 連携型中高一貫 教育校	真室川高校 普通科80名 (2学級)
---	---------------------------------	--	---	---	--------------------------

※平成24年度より1学級

平成26年度 再編整備 全体 720名(18学級)

新庄北高校 普通科 全日制200名 (5学級) 定時制40名 (1学級)	新庄北高校 最上校 普通科40名 (1学級)	新庄南高校 普通科120名 (3学級) 商業科40名 (1学級)	新庄南高校 金山校 普通科40名 (1学級) 連携型中高一貫 教育校	新庄神室 産業高校 農業科80名 (2学級) 工業科80名 (2学級)	真室川高校 普通科80名 (2学級)
---	---------------------------------	--	---	--	--------------------------

キャンパス制

キャンパス制

- 新庄北高校に単位制を導入
- 金山高校は、新庄南高校の分校
- 新庄神室産業高校の工業科を1学級減

当面は、「県立高校教育改革実施計画」の「統廃合に関する基本方針」*に基づき整備します。

※「2学級規模の学校：入学者数が入学定員の2/3に満たない年度が2回になったら1学級減
1学級規模キャンパス制導入校：入学者数が入学定員の1/2に満たない年度が2回になったら募集停止」

中長期的な再編整備

- 次期県立高校教育改革実施計画(仮称)期間(平成27年～36年)終了時には、最上地区全体で480名程度(12学級程度)の入学定員となります。
- その中で、望ましい規模の学校を設置するためには、2校程度に再編する必要があります。
- 学校の配置、各学校の学科構成、多様な学びのスタイルを可能とする昼間定時制の設置等については、次期県立高校教育改革実施計画(仮称)期間後半に、検討を行います。

常任委員会資料より

少子・高齢化対策特別委員会より

県立中央病院に女性専門外来の設置を

菊池：県立河北病院に設置している女性専門外来の利用状況はどうですか。利用率が上がっているようですが県立中央病院等にも広げていってはどうですか。

県立病院課長：毎週火・木・金曜日の12時から16時まで予約制で行っています。利用者数は1日平均7・3人で利用者数は多い状況です。女性医師の確保が大きな課題ですが、現在研修医に女性が多くおり環境整備も含めて今後検討していきたい。



在宅介護・医療の推進を

菊池：脳梗塞等でリハビリを終えた患者の引きこもりが懸念されます。近年「在宅訪問マッサージ」で自宅において機能回復と会話しながらのリハビリで効果があるように聞いています。医師の治療方針で決まるとのことですが、本県の取り組み状況はどのようになっていますか。

健康福祉企画課長：現在「在宅訪問マッサージ」は把握しておりません。来年度の保健医療計画の改訂で、在宅医療について重点的に取り組むことになり、在宅医療の関係者を交えた協議会を開催している。協議会における意見を踏まえながら、医療サイドからどのような支援ができるのかを検討していきたいと考えています。



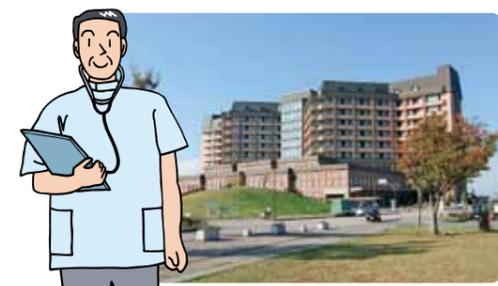
胆道閉鎖症とカラーカードの導入について

菊池：胆道閉鎖症は1万人に1人の確率で発症するといわれており、早期発見・早期手術で治癒率が向上するといわれています。母子手帳に胆道閉鎖症特有の便の色を比べることができるカラーカードの導入が必要と思われるのですが、県内での対応はどのようになっていますか。

子ども家庭課長：胆道閉鎖症は現在17名です。県内自治体では取り組んでいません。カラーカードの導入につきましては平成24年4月より県内自治体全ての母子手帳に載ることとなります。



県立病院での医師確保について



菊池：県立病院の医師確保で医師数は上がっていますが、診療科目・専門医として不足している科目等はありませんか。C型肝炎治療薬インターフェロンには肝臓専門医と皮膚科専門医が必要ですが皮膚科医がいなくて聞いていますが現状はどうですか。

県立病院課長：現在産科医・小児科医そして皮膚科医が極めて少ない状況です。医師確保に向け取り組んでいきます。